

9月29日(火)~10月27日(火) 満月セレクト

— 今回のセクター ご紹介 —

Music Selector : Shin Barakan (シン・バラカン)



シン・バラカン

東京生まれ、東京育ちのMusic Lover。ヒップホップをきっかけに、トラックにサンプリングされる元の音源などに興味を持ち、ジャンルの壁を超えた音楽の世界に目覚める。アメリカの大学を2010年に卒業し、2012年にはヨーロッパを一人で旅する。現在は、毎週日曜日、FMヨコハマ深夜24時から放送の番組「アナログ特区」のコーナーに出演、更にインターFMで毎週月～金曜日、午前5時～7時放送の音楽ミックス番組「Morning Grooves」の選曲を担当。その他、Konamiが制作する人気サッカーゲーム「Winning Eleven」の最新作、「Winning Eleven 2016」に使用されている楽曲「Love The Past, Play The Future」の英詞を担当している。

今回のセレクトCD

1.



Black Radio / Robert Glasper Experiment (Blue Note TOCP71225)

テキサス州ヒューストン出身のジャズ・ピアニスト、「Robert Glasper」が手掛ける次世代ジャズ・プロジェクト「Robert Glasper Experiment」の第1作目(2012年にリリース)。Hip Hop, Soul, Jazzなど、多岐に渡る音楽性を持つRobert Glasperが手掛ける楽曲には魅了されます。僕が大好きなErykah Badu, Lalah Hathaway, Musiq Soulchild, Mos Defなどをフィーチャーしている傑作です。いつ聴いても素晴らしい一枚です。

2.



Keep Me In Your Heart For A While: Best Of Madeleine Peyroux / Madeleine Peyroux (Rounder UCCO6011-2)

アメリカ南部・ジョージア州出身、ジャズ・シンガーソングライター、ギタリストのベスト盤。ハスキーで訥々としたスタイルを持つミュージシャンであり、あの伝説的なジャズ・ボーカリスト、「Billie Holiday」の歌い方と良く似ていると言われます。ゆったりとした、彼女の優しい声を聴くと、とにかく落ち着きます。「Smile, "A Little Bit" や "J'ai Deux Amours"は個人的に傑作だと思えます。

3.



Rickie Lee Jones / Rickie Lee Jones (Warner Bros. WPCR75433)

イリノイ州シカゴ出身、ボーカリスト/シンガーソングライター/プロデューサーのデビューアルバム(1979年にリリース)。Rock, Jazz, R&B, Popなど、ジャンルに拘らず、様々な音楽要素を含む彼女の楽曲は最高にグルーヴィーです。また、Rickieの「気だるい」歌い方にも魅かれます。「Chuck E's In Love, "Weasel And The White Boys Cool, " "Danny's All Star Joint"は何回聴いてもあきません。

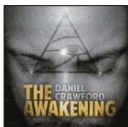
4.



Baduizm / Erykah Badu (MCA UD53027)

テキサス州ダラス出身、ヒップホップやR&Bにジャズを融合させた「ネオ・ソウル」というスタイルで知られている女性シンガーソングライターのデビュー作(1997年にリリース)。耳を奪うErykahのクールな歌声、更に彼女の哲学的に響くリリックを初めて聴いた時は衝撃的でした。「Baduizm」に収められている楽曲はどれも静かで、伸びやかなリズムをキープする、どの方も安心して楽しめる傑作だと思います。

5.



The Awakening / Daniel Crawford (P-Vine PCD-93832)

カリフォルニア州ロサンゼルス出身、次世代ジャズ・ピアニストのデビュー作(2014年にリリース)。Led Zeppelinの名曲「Kashmir」のカバーを始め、クラブサウンドへとアプローチを取る洗練されたアフロビートやヒップホップ、時にはソウルフル・ハウスなど、様々な音楽要素を含む彼の楽曲は非常に面白い。2006年に他界した、ヒップホップのトラックメーカー「J Dilla」にも絶大な影響を受けている。現代のジャズ・ピアニストです。奥深い、素晴らしい一枚だと僕は思います。